

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：県民生活行政費

事業名 第18回日本スカウトジャンボリー派遣事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 環境生活政策課 生涯学習係 電話番号：058-272-1111(内3574)

E-mail：c11260@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 500 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	500	0	0	0	0	0	0	0	500
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

青少年の生きる力を育む場として、体験活動の価値が重視されており、これを積極的に行うスカウト活動の円滑な実施のためには、地域における青少年育成指導者の育成を図る必要がある。

(2) 事業内容

第18回日本スカウトジャンボリーにかかる経費の一部を補助する。

期 日：令和4年8月7日(日)～8月8日(月)を含む5泊6日以上の
キャンプ

会 場：東京(中央会場)および全国6ブロック(サテライト会場)

活 動：これまでに培ったスカウト訓練を基盤に、国内外のスカウト仲間と相互交流を通じて冒険的で楽しい野外活動を行いながら、奉仕活動に励む。

参加者：約10,000人

(3) 県負担・補助率の考え方

定額：補助対象経費の2分の1以内の額
(生涯教育促進事業費等補助金交付要綱による)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	500	ボーイスカウト岐阜県連盟の日本ジャンボリーへの参加に要する経費の補助金
合計	500	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県教育振興基本計画 基本方針5
目標⑳ 家庭や地域と学校が連携した教育環境づくりの推進
取り組むべき主な施策⑤
社会全体で子どもたちの学びを支援する取組の推進

(2) 後年度の財政負担

青少年の健全育成と地域の教育力の向上を図るための補助事業であり、次年度以降も継続する必要がある。

(3) 事業主体及びその妥当性

スカウト活動は、集団生活における自己啓発、自然の中での様々な体験活動によって培われる友愛、協力、奉仕のスカウト精神の高揚であり、優れた人格形成への支援をはじめ、青少年の健全育成に資するところが極めて大きいことから妥当である。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	岐阜県ボーイスカウト・ガールスカウト事業費補助金
補助事業者（団体）	・ 日本ボーイスカウト岐阜県連盟 (理由) 集団生活における自己啓発等スカウト活動は青少年の人格形成に与える影響が大きい。
補助事業の概要	(目的) 社会教育の振興を図る。 (内容) 事業に要する経費の一部を補助する。
補助率・補助単価等	定額 (内容) 500千円（補助対象経費の2分の1以内の額） (理由) 社会教育の振興を図るため、事業に要する経費に対し、予算の範囲内で、補助金を交付する（交付要綱）
補助効果	国内外のスカウト仲間との相互交流を通じて、地域の青少年の健全育成を図る。
終期の設定	終期 R4年度（ジャンボリー） (理由) 事業が終了するため

(事業目標)

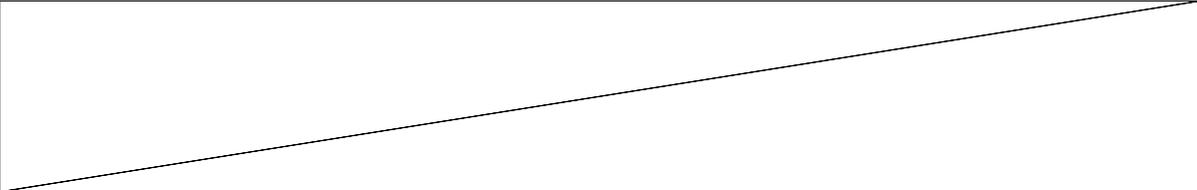
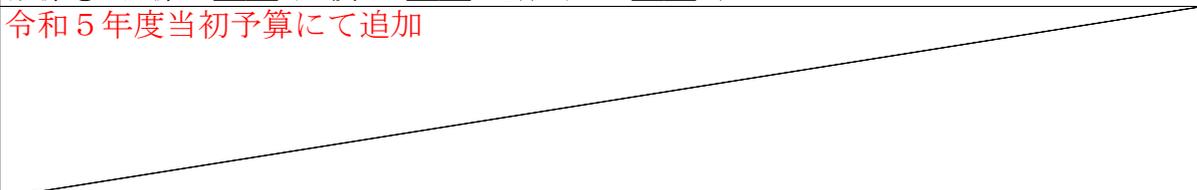
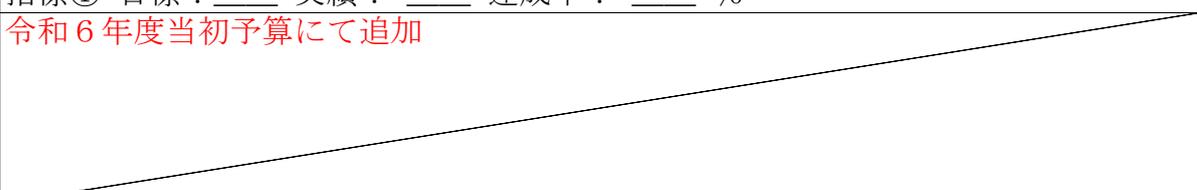
- ・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか
スカウト活動の活性化を図ることで、地域の教育力を高める。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (S56)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R5)	
					達成率	
ジャンボリー派遣者数	/	/	/	200	200	/

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度	R元年度	R2年度
	500	0	0

(これまでの取組内容と成果)

令和 2 年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 3 年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

令和5年度当初予算にて追加

指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

令和6年度当初予算にて追加

指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	日本ボーイスカウト岐阜県連盟は、青少年の健全育成に尽力している団体であり、これらの団体が行っている人材育成に関する事業に対し、引き続き支援を行い、連携していく必要がある。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</p>	
(評価) 3	日本ボーイスカウト岐阜県連盟は、青少年の健全育成に向けた活動を日頃から実践し、指導者や構成員の育成に積極的に取り組んでいる。補助金はこれらの事業費の一部に充てられている。
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 1	日本ボーイスカウト岐阜県連盟が実施する事業の確認を行っている。

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 少子化により、団体の構成メンバーが減少しているため、指導者の関わり方も含めた、活動内容全般の工夫改善が必要である。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 【廃止】 本事業は、概ね4年周期で開催されるため。</p>
